

G Suite の Gmail 向けに MX レコードを設定する

MX レコードを使用してドメインの所有権を証明し（まだ証明していない場合）、Gmail をビジネス用メールとして設定します。

Google の MX レコードに切り替えると、Gmail の受信トレイか MS Outlook などのメール クライアントでメールを受信できます。

仕組み

- 設定手順は開いたまま、別のウィンドウかタブから利用中のドメインホストにログインします。ドメインの技術設定はドメインホストで管理されています。
- 次に、MX レコードの設定を更新して、メールが G Suite アカウントに配信されるようにします。これは、郵便局に転居届けを出して、郵便物が新しい住所に届くようにする手続きと似ています。
- ドメインですでにメールをご使用の場合（メールアドレスの末尾が @yourdomain.com の場合）、以前のメール プロバイダの代わりに Gmail にメールが届くようになります。

G Suite の MX レコードを設定する（ホスト固有の手順（推奨））

[ドメインホストごとの MX 設定手順](#)をご確認ください。GoDaddy、Enom、1&1 IONOS、Dreamhost など、多数のドメインホスト用の手順をご紹介します。[ドメインホストを特定する方法はありますか？](#)

G Suite MX の設定（一般的な手順）

[利用中のドメインホスト用の手順](#)が見つからない場合は、こちらの一般的な手順に従ってください。

注: ドメイン名の入ったメールアドレス（例: [ユーザー名]@[ドメイン].com）がすでにある場合は、Google 管理コンソールでユーザー アカウントを作成してから MX レコードを設定してください。そうすることで、ユーザーがメールを中断なく受信できます。

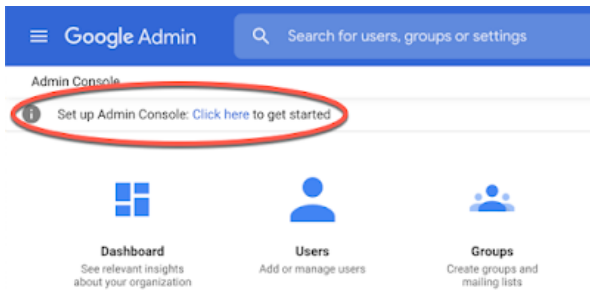
- 利用中のドメインホストでドメインのアカウントにログインします。
サポートが必要な場合: 利用中のドメインホストのサポートチームにお問い合わせください。ドメインホストは MX レコードに詳しく、日常的に設定を行っています。
- ドメインの MX レコードを更新するセクションに移動します。「DNS Management」、「Mail Settings」、「Advanced Settings」といったセクション名です。
- 既存の MX レコードをすべて削除します。
既存のレコードを削除できない場合は、その優先値を 20 以上に変更します。
- Google メールサーバー用に新しい MX レコードを追加します。
利用中のドメインホストで MX レコードの数が制限されている場合は、表の先頭の 2 つのレコードだけを追加してください。

G Suite の MX レコードの値

名前、ホスト、エイリアス	TTL (Time to Live) *	レコードタイプ	優先値	値、応答、参照先
@ または空欄	3,600	MX	1	ASPMX.L.GOOGLE.COM
@ または空欄	3,600	MX	5	ALT1.ASPMX.L.GOOGLE.COM
@ または空欄	3,600	MX	5	ALT2.ASPMX.L.GOOGLE.COM
@ または空欄	3,600	MX	10	ALT3.ASPMX.L.GOOGLE.COM
@ または空欄	3,600	MX	10	ALT4.ASPMX.L.GOOGLE.COM

注: ドメインホストによって名前と値の欄の名称が異なることがあります。また、一部のホストでは、サーバー名の末尾にピリオドを付ける必要があります。

- 変更を保存します。
- [管理コンソール](#) を開きます。必要に応じて、ページ上部のリンクをクリックして管理コンソールの設定を続行します。



7. **[Gmail を有効にする]** ページに移動します。

8. ページの一番下までスクロールし、**[Gmail を有効にする]** をクリックします。



9. 通常は 6 時間以内に新しい G Suite のメールアドレスを使ったメールの送受信をできるようになりますが、**48~72 時間**ほどかかる場合もあります。MX レコードが反映されるまでの時間は利用しているドメインホストによって異なり、Google では制御できません。新しいアドレスでメールを受信できるようになるまでの間は、以前のメール クラウドで受信できます。

Gmail の使用を開始する

1. admin.google.com から G Suite のユーザー名とパスワードでログインします。
2. 右上のアプリ ランチャー アイコン ☰ > メールアイコン  をクリックします。

Gmail のセキュリティを設定する

Gmail でメール認証とセキュリティ方式を有効にすることをおすすめします。

メール認証のベスト プラクティス

管理者の方には、ドメインに対して以下のメール認証方法を設定していただくことをおすすめします。

- **SPF**: あるドメインから送信されたように見えるメールが、ドメイン所有者によって承認されたサーバーから送信されたものであることを受信サーバーで確認できます。
- **DKIM**: すべてのメールにデジタル署名が追加され、この署名によって、メールが偽装されていないことと配信中に改変されていないことを受信サーバーで確認できます。
- **DMARC**: SPF と DKIM でメールを認証し、不審な受信メールを管理できます。

設定方法の詳細については、[なりすまし、フィッシング、迷惑メールの防止を支援する](#)をご確認ください。

サポートが必要な場合

72 時間を経過しても MX レコードが反映されない場合や、ドメインの DNS 設定にアクセスできない場合は、ドメインホストに直接お問い合わせください。

メール配信のトラブルシューティングを行う場合は、[MX レコードのトラブルシューティング](#) をご覧ください。

Google、G Suite、および関連するマークとロゴは、Google LLC の商標です。その他すべての企業名および商品名は、関連各社の商標または登録商標です。

 この記事に関するフィードバックをお寄せください

この情報は役に立ちましたか？